



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.46

2016.11.10発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第46号 発行日：2016年11月10日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> ☑ kodomo@pref-nagano-hosp.jp



Contents

公費負担医療制度のご紹介……………	1
「この人に聞く」……………	3
PICU増床コラム……………	4
安曇野ちひろ美術館 絵画展示10周年……………	5
病院祭を振り返って……………	6
ボランティア説明会を開催しました ……	9
豊科南中から千羽鶴の贈り物 ……	9
国営アルプスあづみの公園 リレーマラソン……………	10
「防犯訓練」……………	10
ホームページをリニューアルしました ……	11
ビバ!マイホームタウン……………	12
栄養科通信……………	13
編集後記……………	13



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

公費負担医療制度のご紹介

療育支援部 丸山昌子

「公費負担医療制度」とはなんでしょう？

簡単にいうと、国や地方自治体（都道府県や市区町村）が医療費の一部を負担してくれる制度です。

病院にかかると通常はかかった医療費の2割～3割の自己負担分の医療費を窓口で支払うこととなりますが、この自己負担の一部が公費で支給されることにより、病院の窓口で支払う医療費が少なくなる、または支払った医療費が後から手元に戻ってくる制度のことを「公費負担医療費制度」といいます。

こども病院で治療されている患者様の大部分が「公費負担医療制度」を利用されています。

福祉医療費制度

「福祉医療費制度」はいったん病院窓口で支払った医療費が、2～3ヵ月後に市区町村から戻ってくる制度です。

乳幼児、障がい者、母子世帯、父子世帯等に区分されていて、市町村によっても対象が異なっています。

～窓口無料化～

残念ながら長野県では医療費の窓口無料化は進んでいませんが、県外には医療費のやり取りを病院と市区町村の間で行い、「福祉医療費制度」の利用者が窓口で支払いをせずにすむ地域もあります。



正面玄関に入ってまっすぐ行くと右側に療育支援部の入口が見えます

～長野県の場合～

長野県の場合はいったんかかった医療費の自己負担分を支払わなくてはなりませんので、支払う医療費が高額になる場合があります。このため、こども病院では患者様にそれぞれ利用できる公費制度の申請をさせていただいています。

公費医療費制度の例

自立支援医療

障害者総合支援法による医療費の給付制度で、「更生医



入口を入ると医療相談のカウンターがあります

療」「育成医療」「精神通院医療」の3つの種類があります。

この自立支援医療3兄弟のうち、こども病院で最もよく使われているのは「育成医療」、次に「精神通院医療」そして「更生医療」の順になります。

～医療費は1割負担、市町村の福祉課に事前に申請～

いずれの制度も市町村の福祉課に申請をします。申請をすると世帯の市町村民税の金額によって医療費が1割負担になるだけでなく、決められた上限額以上は支払わなくてよくなるというものです。通常、就学前のお子さんは2割負担、就学後からは3割負担ですので、病院窓口でいったん払う医療費は少なくて済みます。

また、上に書いた福祉医療費制度を利用している方であれば、窓口で支払った金額についても後から戻ってきます。

「育成医療」

そのままにしておくとう障害が残ってしまうような病気がある18歳未満のお子さんで、外科的に（手術等で）治すことができる、あるいは治療で確実な効果が期待される場合対象となります。

認定されると世帯の市町村民税の金額に応じて、医療費の負担額が1割、または2,500円～10,000円を上限とする支払いとなります。

手術が決まったら療育支援部までご相談ください。

「精神通院医療」

精神疾患やてんかん、発達障害で主に服薬で治療をされている方の通院にかかる医療費の一部を補助する制度です。

年齢の制限はありませんので、条件が合えば誰でも使うことができます。

認定されると医療費が1割負担となり、市町村民税非課税世帯の場合は2,500円～5,500円が支払いの上限になります。

ただし、あくまでも“通院医療”が対象なので、入院して治療するときには使えません。また、この制度は基本的には1カ所の病院でしか使うことができないため、どのように使ったらいいのかわからない場合は療育支援部までご相談ください。

「更生医療」

身体障害者手帳が交付されている18歳以上の身体障がい者の方で、外科的治療（手術等）で確実にその障害を治すことができる、または障害の軽減が期待で

きる場合に対象となります。

認定されると医療費が1割負担となり、市町村民税非課税世帯の場合は2,500円～5,500円が支払いの上限になります。

基本的には手術をするために入院してから3ヵ月間の認定なので、非課税世帯でない場合は医療保険の限度額申請を使う方が面倒な手続きをせずに済むかもしれません。

どうしてかという詳しいからくりをぜひ知りたいという方は療育支援部にご相談ください。

～申請は事前に～

自立支援医療制度を利用するにはあらかじめ申請しておくこと（事前申請）が必要です。基本的には後からの認定はしてくれませんのでご注意ください。

*この他の制度については別の機会にご紹介いたします。



公費負担医療制度の説明書類
(左から、更生医療、育成医療、精神通院)



今回は、表紙の病院写真の撮影者である大畑淳先生（麻酔科部長）にお話をうかがってきました。こども病院創業メンバーの一人にして写真、マラソン、釣り、ゴルフ等々幾多の趣味を持つ人物像に迫ってみたいと思います。

～痛っ！マラソンを始めたのは尿管結石を出すため？～

編）先生のご趣味について教えていただけませんか。ちなみに昨日走っている姿を目撃したのですが。

大）月に4回ジムに通ってるんですよ。毎週土日のどちらか行きます。45分から1時間くらい走るんですけど、本当にゆっくりですよ。（編：いやいやご謙遜を…）

走るのが趣味になったのは、尿管に結石ができてすごくお腹が痛くなったときからです。なんとか石を出す方法はないものかと考えて実行したのが、まずは水を毎日たくさん飲むこと、もう一つがとにかく振動で石を下に降ろすために走ることだったんです。なので、かれこれ8年になりますね。そのうちに周りに何人か走る人が出てきて、それならばということマラソン部を立ち上げたんです。

～還暦祝いにホノルルマラソン完走～

大）実はフルマラソンも一回だけ経験があります。60歳になったらホノルルマラソンを走りたいと思い立ってハワイに行ったんですよ。（編：ホノルルマラソンですか!?)

それが唯一のフルマラソンの経験です。息子も一緒に走ったんですけどね。彼はだいたい30キロくらいでもう走れなくなって歩きはじめましたから、僕は「じゃあ先に行くから」って(笑)。還暦のお祝いをそこでやりたくて、家

族旅行がてら行ってきたんです。その後はせいぜい10キロ20キロくらいがちょうどいいです。

～三代続く筋金入りのカープファン～

編）先生は野球が好きで広島カープも熱心に応援されているとか。

大）うちの祖父も父も広島ファンだったんで、子供のころは父に連れられて日帰りで広島カープを見に行っていました。広島カープが後楽園で初優勝したときも松本から行ったんですよ。これは絶対優勝するぞと思って。応援に使ったしゃもじもまだ残ってますよ。とにかく野球好きだったんです。

～福引でカメラが当たって～

大）小学校高学年の時だったかな、年末の福引でカメラが当たって。そのカメラでよく写真を撮るようになったんです。高校で写真部に入って本格的に写真を撮始めたから、カメラの経験はすごく長いですよ。今もデジカメを3台持っています。残念だったのは、コンピューターが壊れて保存していた写真が全部消えちゃったことです。それ以来、3つ4つのコンピューターにバックアップをとるようにしています。

～広島生まれの島根育ち～

編）先生は島根県出身とうかがっていますが、地元の思い出話などはありますか？

大）生まれは広島なんです。父は島根県の人間なので、育ったのはそっち。うーん、地元の思い出か～。あ、島根県には石見神楽っていうのがありまして、実は僕の結婚式に神楽を呼んだんです。それが地域初で評判になって、そ



ホノルルマラソンでの雄姿



釣果！49cmの虹鱒（梓川にて）

のあとの結婚式には神楽がつきものになってしまったんです。(編：なんと!? 伝説の結婚式じゃないですか)

～大学ゴルフ部から麻酔科へ～

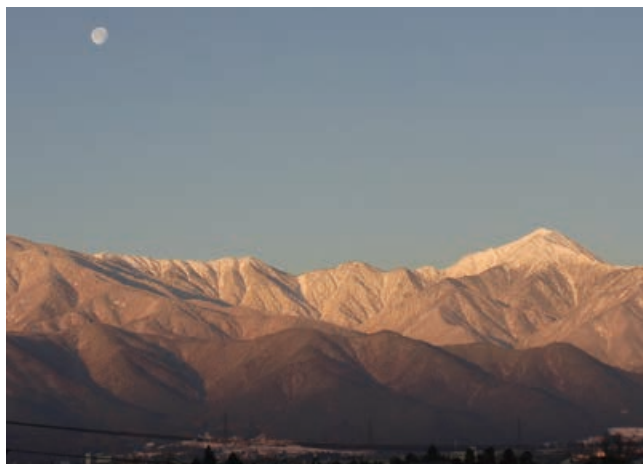
編) 麻酔科を選ばれた理由はなんですか。

大) 本当は島根に帰って外科医になるつもりでいたんですよ。だけど当時の麻酔科に清野教授という方がいまして、その人がゴルフ部の部長で。あ、僕大学時代はゴルフ部に入ってたんです。それで清野教授に「大畑、外科医やるなら2年間麻酔科やってからでも遅くないから、麻酔科入れ」って言われて。じゃあ分かりましたということで、2年間の約束で麻酔科へ入ったんです。

～信大、国立小児、千葉こども、そして長野こどもへ～

編) こども病院に来られるまでの経緯を教えてください。

大) 最初は信大で麻酔科医を続けていたんですね。そのうちに国立小児病院にいた宮坂勝之先生(元・こども病院



自信の作品「常念岳の朝焼け」(病院の裏から)

長) という先輩から話があって、国立小児で7年間仕事をする事になりました。次に千葉県立こども病院の麻酔科・集中治療科に行きました。千葉こどもは麻酔科の中で集中治療もやっていたんですね。その後、長野県立こども病院が開院する前に清野教授とお会いしたとき「大畑戻って来ないか」と直々に言われたんです。「はい、わかりました」と答えた矢先ですよ、心筋梗塞で教授が急に亡くなられたんです。とても驚きましたね。それからいろいろありましたが、こども病院麻酔科のトップとして来る医者は結局僕しかないわけですよ。だからまあ、もともと決めていたこともあって、信州に戻って来ました。それが23年前ですね。

～この人にとって今何が一番必要なことなのか…～

編) 先生が若い人達や後輩に伝えたいことはありますか。

大) うーん難しいな。あの、とにかく自分の中に閉じこもらないで仕事をしてくれれば嬉しいかなって思います。医者に限らず、誰だって精神的に落ち込む時はあるじゃないですか。ある日唐突に「ああ、なんだか仕事したくないな」って思うことは誰にだってあると思うんですよ。でもだからと言ってそういう状態の人に「こうしなさい」「ああしなさい」というのは無理な話ですよ。この人にとって今何が一番必要なことなのか、しっかり話を聞いてあげることが大事です。何か困ったことがあったら、一人で解決するのではなくて皆で解決していけたらいいですよ。

編) お忙しいところ、お時間をいただきましてありがとうございました。

インタビュー：神田莉沙 赤羽純恵

PICU増床コラム

小児集中治療科 部長 松井彦郎

10月初旬に基礎工事の山場を迎えました。これから鉄筋がたってゆき、いよいよ新しいPICUの形が見えてきます。院内への影響も最小限にするために、院内ラウンジが使用できない期間を2017年の2月末から3ヵ月ほどに大幅に短縮できました。現在は内装や配置場所などの設計の最終的なツメを行なっています。基礎工事の遅れがありましたが、工事業者の皆さんと病院が一体となって遅れを取り戻して、来年の8月の完成を目指しています。

これから院内での工事が時々入ってきます。皆さんの御理解と御協力をお願いします。



安曇野ちひろ美術館 絵画展示10周年

こども病院の中は“いわさきちひろ”の絵で飾られています。その数ざっと50点。まだお気づきでない方がいらしたら、ぜひ一度廊下の壁に注意を向けてください。見る者の心をなごませてくれる“いわさきちひろ”の絵が目に入ってきます。ふだんは忙しく通り過ぎるだけの廊下も、足を止めればそこに別の世界が広がっています。

～芸術は心の栄養～

2006年9月、当時の安曇野ちひろ美術館松本猛館長とこども病院宮坂勝之院長が、「音楽や文学や美術は心の栄養」「体の具合がすぐれないときこそ心の栄養が大切」「こども病院を美術館にしよう」という思いで一致し、ちひろ美術館の作品を院内に展示することになりました。それからちょうど10年、今ではすっかり“いわさきちひろ”の絵が病院の一部になっています。

～ときどき新しい絵になっています～

関心のある方ならすでにおわかりと思いますが、ちひろ美術館では展示してある絵を年3回掛け替えてくださいます。最近では9月6日に一部の絵が新しく入れ替わりました。

～ピエゾグラフ～

展示している絵は水彩の原画をピエゾグラフという手法で精密に再現した作品です。ご存知でしたか？

*いわさきちひろピエゾグラフ作品は、極めて高度な再現能力を持つエプソンのピエゾグラフ技法を用い、現在の原画の状態を再現するとともに、将来にわたって原画のデータを保存するデジタルアーカイブの試みです。(ちひろ美術館)



水彩技法ワークショップ

～こんなところにも“いわさきちひろ”の絵が…～

絵の展示場所は、外来待合、しろくま図書館の隣、家族休憩室、プレールーム、新生児病棟など、10か所以上になります。そして患者さんと最後のお別れをする“すずらの部屋”にも飾られています。

～いわさきちひろ水彩技法(出張)ワークショップ～

2年前の12月、いわさきちひろ水彩技法のワークショップをこども病院に出張して開催していただきました。入院中の子どもたちも濡れた画用紙に3色の絵の具を落として“いわさきちひろ”の色のにじみを体験しました。

10周年にあたり、ちひろ美術館が私たちの近くにある幸運を今さらながら感謝しています。

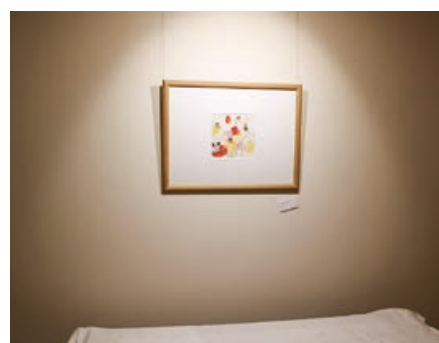
(小木曾嘉文)



玄関近くに掲示されている解説



展示風景



すずらの部屋

ちひろ美術館からのお知らせ

今年7月安曇野ちひろ公園に「トットちゃん広場」がオープン！『窓ぎわのトットちゃん』の物語の舞台となったトモ工学園の電車の教室が再現されています。また、11/30(水)まで、展覧会「愛書総覧 ちひろの本棚」〔企画展〕長新太の脳内地図展〕開催中です。

今年の病院祭は、これまでにない入場者数で、3,000人？を越えたと思われます。晴天にも恵まれ、外の会場を含めてすべての企画を順調に開催することができました。折原みとさんに描いていただいたポスターやプログラムの絵も病院祭に彩りを添えてくれました。

今回は、“できることをひとつずつ きっといいことがあるよ”というテーマで行いましたが、地域の皆様との絆

をひとつ作れたのではないかと思います。皆さんの心に残る病院祭になれば嬉しいです。

最後に、病院祭がこのような盛会にできたのも、病院関係者だけでなく、ご協賛の企業、団体、個人の皆様、各種イベントに出演、出展していただいた皆様、そして、病院祭に訪れていただいた皆様方のおかげです。実行委員を代表して深く深く感謝申し上げます。



ちるくま体操



JAXA 木場田さんの宇宙の話



山田倫太郎くんのトークショー



◀折原みとさん感謝状贈呈



ドクターヘリ飛来



フェイスペイント

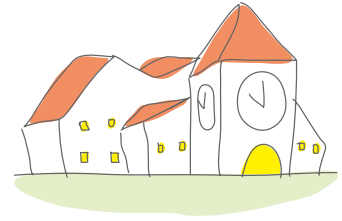


キツザニア▶





スターバックスコーヒーのサービス



マッサージ



大道芸



ミスターポテトの風船

ボランティア説明会を開催しました



9月29日（木）、初めてのボランティア説明会を開催しました。

こども病院では開院の頃から大勢のボランティアさんが活躍していますが、最近人数が減ってきていることもあり、新たに広く募ろうと企画したものです。

～歓迎！ エントランス・図書館ボランティア～

今回募集したボランティアは、総合受付近くでお子さんの見守りなどをする「エントランスボランティア」と、しろくま図書館で本の貸出などをする「しろくま図書館ボランティア」の2種類です。

～活動場所を見学しました～

当日は40名もの参加がありました。中村副院長のあいさつに続き、病院概要、ボランティア活動内容などの説明などを行い、図書館やエントランスなど活動に関連する場所を見学していただきました。



これから新しいボランティアさんが加わり、一緒に活動していくことを楽しみにしています。

（ボランティア・コーディネーター）

豊科南中から千羽鶴の贈り物

こども病院の隣には中学校があります。その豊科南中の3年生は、総合的な学習の時間「NNT（ナンナタイム）」に地域の方々に講師を招いて様々なことを学んでいます。その一つ「折り紙講座」の15名の生徒さんが千羽鶴を折って、代表者数名がこども病院へ届けてくれました。実際には千羽はないというお話ですが、限られた時間に何百羽も折るのは大変だったと思います。ありがとうございます。色とりどりの折り鶴はしろくま図書館に飾ってあります。ぜひ見に来てください。



国営アルプスあづみの公園リレーマラソン

毎年、紅葉の美しい秋のあづみの公園でリレーマラソンが開催されます。4人以上10人以内のチームで、1周1.5kmのコースを28周プラス195m、タスキリレーで完走するマラソン大会です。当院からも、マラソンクラブを中心にマラソン好きなメンバーが参加しています。アットホームな大会で、最終走者はもちろん、チーム全員でゴールテープを切ることができるのも楽しみの一つです。

～マラソンクラブ～

ここで当院のマラソンクラブについて少し紹介します。マラソン好きな大畑先生（麻酔科：本号の「この人に聞く」で紹介しています）と瀧間先生（循環器科）の音頭で2014年4月に結成されたクラブです。クラブといっても月2回、土曜日の朝に集まってジョギングすることがメインの活動内容です。寒さが厳しい時期はお休みする緩いクラブです。安曇野ハーフマラソンに参加する人がいたり、応援する人がいたり、マラソンへの関わり方は様々です。メンバーは様々な職種の人

が集まっており、原田院長もメンバーの一人です。日ごろ話す機会がないメンバーと一緒に喋りながら走るのが楽しみの一つとなっています。

(畑田智子)



2015年のリレーマラソンに参加したメンバーです

「防犯訓練」—不審者の侵入に備えて—

どの施設でも“不審者の侵入”はいつ起きるかわからない危険です。ときには人命にかかわることさえあります。まずは不審者を侵入させないことが大切ですが、知らないうちに入り込まれた場合の対応も訓練が必要です。

こども病院では安曇野警察署生活安全課の中田警部補他3名の警察官を講師に招き、職員の防犯訓練を行いました（8月31日）。内容は、刺股（さすまた）を使って不審

者の取り押さえる方法、腕をつかまれたときの振りほどき方、後ろから抱きつかれたときの逃れ方など護身術の解説と練習で、特に女性の職員にはイザというときの対処法を知るよい機会になりました。

最近の世の中を見ていると、「非常事態にはならないだろう」とは到底思えません。安曇野警察署の皆様、このたびは実用的な講習をありがとうございました。



刺股（さすまた）で不審者を取り押さえる訓練



当院が配備する最新式の刺股

ホームページをリニューアルしました



メイントップページ (<http://nagano-child.jp>)



募集・研修サイトのトップページ (<http://nagano-child.jp/recruitsite>)

2016年9月5日当院ホームページの全面リニューアルを行いました。

今回のリニューアルではスマートフォンに対応したほか、募集・研修用のサイトを作成しました。募集・研修サイトはメイントップページの「募集・研修」バナーをクリックするか、<http://nagano-child.jp/recruitsite> よりご覧ください。(ブラウザはInternet Explorer 9以上、その他ブラウザは2016年9月時点での最新バージョンをご覧ください。)

リニューアルの最大の目玉は、何といても漫画家の折原みとさんがこども病院のためにイラストを描いてくださったことです。当院が取材協力した漫画「天使のいる場所～Dr.ぴよこの研修ノート～」の制作当時から親しくしていたという医療情報管理課の櫻井課長が「ねえ、みとさんにイラスト描いてもらおうか!」と提案してくださったのがきっかけで、なんと電話一本で「いいわよ～♪」と引き受けてくださったのです。「(有名な漫画家さんに) そんなことできるのですか?!」と言った私の言葉に櫻井さんは驚いたようで、「そんな大ごと?! みとさんはこども病院の人ですから!!」と目の前で電話を掛けたのです。いや、本当に折原みとっていえば私たち世代にはすごく有名な人なんですよ…

ちょうど病院祭の準備も始まった頃で「病院祭のポスターも描いても

らえませんか?」とお願したところ「こども達と一緒にぴよこも描いてよろしいでしょうか～～??」と快く引き受けてくださいました。こうして出来上がったイラストは、どれも本当に繊細で、見ていて涙がでるほどでした。

折原みとさん、櫻井課長、記事を書いて下さった職員の皆さん、どんどん膨れ上がる要望に答えてくださった(株)リモードデザインの皆さん、本当にありがとうございました。折原みとさんの素敵なイラストが散りばめられているこども病院の新しいホームページ。皆さんぜひゆっくりご覧ください。

(ホームページ担当：今井純子)



折原みとさんと愛犬のこりきちちゃん

ビバ!マイホームタウン 小児外科 服部健吾

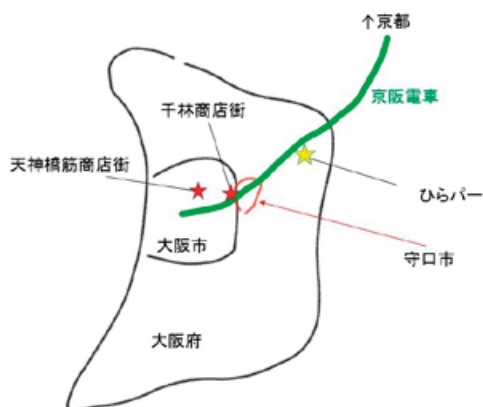


写真1 守口市 大阪市の北にひっそりたたずむ

出身地大阪の紹介。期待されているのはUSJだの、大阪城だの、ザ・観光名所だとは思いますが、それは「るるぶ大阪版」にお任せしてもう少しディープな私のホームタウン・守口周辺をご紹介します。

守口って？今はなき三洋電機本社があったところ。漫才師・中川家の出身地。守口大根（通すぎる答だけど今はなぜか名古屋名産）… 多分何も思い浮かばないのが普通。どこそれ？という人のために地図を参照ー写真1ー

～おけいはん～

中川家とその車掌の喋り方を持ちネタにしていることで有名な大阪と京都を結ぶ私鉄・京阪電車。大阪と京都を結ぶといえば阪急電車もJRもあるけれど、その庶民度から言えばNo.1。阪急のお高くとまってる感はなく、JRのように事故頻発もなし。守口出身の私にはこの緑の電車が心のふるさとといっても過言ではない…。なお、京阪電車に乗る人のことを「おけいはん」という。

沿線にはV6岡田君が園長を務めるちよーローカル遊園地“ひらパー（ひらかたパーク）”が存在し、おけいはんたちのデートスポットである。ちなみに私の最寄り駅だった土居駅から次の千林駅まではなんと500mしかなく走った方が早いともいわれる…



写真2 京阪電車とひらパーの宣伝

ー写真2ー 左側は土居駅から見た緑がまぶしい京阪電車（赤は特急、青は最近の車両）。次の千林駅がすぐそこに！右側は関西ローカルコマーシャルの最たる“ひらパー”の宣伝。

～商店街～

「一、十、百、千、せんばやし〜♪」のテーマソングでおなじみの千林商店街。関西的カオスを味わいたいなら商店街で決まり！主婦の店ダイエー発祥の地として有名で、「こんなに安い?!」を味わえる今でも大賑わいの商店街。「ほな、お釣300万円」とベタなおばちゃんに確実に会える。関西ローカル局のテレビロケの遭遇率も高い。ちなみにヒョウ柄のおばちゃんに会いたいミーハーなあなたには日本一長い天神橋筋商店街がお勧め（これは“るるぶ”にも載っているはず）。

ー写真3ー 土居商店街(左)が行きつけだったが、今やゴーストタウン…。千林(右)は今も活気に溢れている。

いかがでした？まだまだほんの序の口ですが、今日はこの辺にしておいてあげましょう。興味のある方はぜひ足を運んでくださいまし。興味のない方はるるぶ大阪版を持ってUSJへ！



写真3 土居商店街と千林商店街



栄養科通信 第11回

季節はすっかり秋ですね。寒くなってきましたが、皆さん元気に過ごせていますか？風邪をひきやすい季節になりますので、しっかり食べて元気に過ごしましょう！

～病院祭～

先月行われた病院祭の風景です。栄養科のコーナーにもたくさんの方がきてくれました☆皆さんの笑顔で、私達が元気をもらいました。



病院祭-キッズシアターの栄養科コーナー



▲お月見メニュー

秋のバイキング▶

～お月見のメニュー～

こちらはお月見献立です。デザートは満月からリンゴのうさぎが飛び出していますね。

バイキングでは、食欲の秋に美味しい「秋の味覚」が並びました☆

*「しろくまニュースレター」のバックナンバーは長野県立こども病院ホームページでご覧になれます

編集後記

祝！ノーベル医学生理学賞受賞。基礎研究者を絵に描いたような大隅良典先生の「人のやらないことをやるのがサイエンス(科学)」という言葉はとても印象的です。世界でまだ誰もやっていないから研究にとりかかる、基礎研究の世界では当然のことですが、医療の世界でこれを実行したらエライことです。マニュアル無視、事故続出・・・考えただけで恐ろしくなります。さまりを守ってミスなく行動するのが医療の基本ですからね。常識にとらわれてはいけな科学としての医学・生物学と経験を積み重ねて技術をみがき上げる医療、似ているようで実はまったく正反対の考え方で成り立っています。そういえば遠い昔の医学生の頃、医学に進むか医療に行くか問いかげられたことがあります。二兎を追って一石二兎だあ～とはいかないのが人間の悲しさですね。

小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成28年11月1日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	二見 徹 (AM)	高橋 淳 (PM) (第2・4)	松原 光宏 二見 徹 加藤 博之 ^{※1}	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	岩出 珠幾 (AM)
眼科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練 (AM)
総合小児科	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) (ワクチン接種)	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司 (AM)
総合小児科 アレルギー外来	小池 由美 (PM)		小池 由美 (AM)		
血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元 (AM)		
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 倉田 敬	坂下 一夫 (AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	倉田 敬
循環器科 (内科・外科)	岡村 達 (AM) 上松 耕太 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)	原田 順和 (AM) 岡村 達 (AM) 上松 耕太 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 (内科)	田澤 星一 武井 黄太 (内科)
循環器科 成人移行期外来		元木 博彦 (AM) (第2・4)			
リハビリテーション科					三澤 由佳 (AM)
精神科 こころの診療科					篠山 大明 ^{※2} (再診のみ)
脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり (AM)	市野みどり (PM)
神経小児科	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 山内 翔子 (PM)	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 中嶋 英子 (AM) 服部 有香 (PM)	平林 伸一 山内 翔子 (AM)	中嶋 英子 (AM) (第2・4PM) 服部 有香 (AM) (第3PM)	平林 伸一 福山 哲広
小児外科					高見澤 滋 (胃瘻・中心静脈栄養外来)
新生児科	亀井 良哉 (AM) 中村 友彦 (PM)	廣間 武彦	関 聡子	廣間 武彦	宗像 俊 (第1・3) 柳沢 俊光 (第2・4)
形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 (AM)	安永 能周 (AM) (第4)	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒
総合小児科		竹内 浩一 (内分泌・代謝)	中山 佳子 (AM) (第1) (消化器) 水城 弓絵 (AM) (第2) (内分泌)	竹内 浩一 (内分泌・代謝)	竹内 浩一 (AM) (内分泌・代謝)
麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
皮膚科				芦田 敦子 (AM) (第2・4)	
遺伝科	古庄 知己 (AM11時~)	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 高野 亨子 (PM) (第3)	西 恵理子 (AM) (PM2時~)
耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	岩佐陽一郎 (AM)
循環器小児科 胎児心臓外来		武井 黄太	松井 彦郎	田澤 星一	瀧間 浄宏
産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	五味 優子 (AM) 三澤 由佳 (PM)	三澤 由佳 (AM) (第1・3・5) 五味 優子 (AM) (第2・4) 笛木 昇 (AM) (第2・4) 三澤 由佳 (PM)	関 千夏	原田由紀子	三澤 由佳 (PM)

※1 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。

※2 精神科(こころの診療科)篠山医師は、再診のみです。外来の初診受付はしていません。

★診察時間：午前9時~午後4時

★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話

0263-73-5300